

研究実施のお知らせ

研究課題名：終末期の関わりについて ACP の視点から振り返る

研究期間：令和 8 年 6 月～令和 9 年 1 月

仙台市立病院では上記課題名の研究を行います。日本看護協会が制定した「看護研究における倫理指針」に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

令和 7 年 9 月に、当院 9 階東病棟に甲状腺癌にて入院された患者さん。

【研究の目的と意義】

終末期の関わりや退院支援について、ACP の視点から患者本人の価値観を尊重した意思決定支援及び退院支援ができていたか検討し、その内容を報告します。

【研究の方法】

診療記録より患者さんの言動や看護師の介入場面を振り返り、先行研究と比較し分析します。

【研究に用いる情報の種類】

診療録に記録された診療情報（医師記録、看護記録等）を研究に使用させていただきます。使用に関しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。

【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者様への謝礼等ありません。

【研究の実施体制】

当院で後方視的に診療記録、看護記録の考察を行います。

【お問い合わせ先】

今回の研究では診療記録、看護記録から得られる必要な情報を利用させていただきたいと考えております。このような情報を提供したくないとお考えの方は、以下の「お問い合わせ」へ遠慮なくご連絡をください。また、この研究に協力しないことによって当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ございません。

問い合わせ先

仙台市立病院 代表 022-308-7111（内線 3391）

研究責任者 9 階東病棟看護師長 立花 江津子

研究担当者 門間 唯菜